

第27回

東京農大教育研究フォーラム

テーマ「中・高等学校での探究的な学びの在り方ー通常の授業に探究の過程を柔軟に取り込むにはー」

2025年

8月30日(土)

13:30-17:00

(12:30開場)

参加費無料

参加方法

対面(世田谷キャンパス)

or

オンライン(Zoom)

お申し込み用

QRコード

縮切: 7/20

<https://forms.office.com/r/DFDHRv3HU>



探究的な学びの重要性は益々高まっています。本学教職課程では「中・高等学校での探究的な学びの在り方」について、経験豊富な先生方をお迎えした講演会およびワークショップを開催いたします。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

講演

01

楽しみながら成長できる探究活動を目指して

昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校教諭 大野 智久氏 | 13:40-14:10 | 1号館 131教室

「探究」というと、「総合的探究の時間」の話になりがちで教科の中での探究は「時間がない」などの理由で敬遠されがちです。しかし、探究は楽しみながら力をつけることができる、素晴らしいものです。高校生物での実践事例からその魅力についてご紹介します。

都立高校に13年勤務した後、私立教員へ。三田国際学園(現・三田国際科学学園)に5年勤務した後、2024年4月に現任校に着任。都立高校時代よりAI型授業を実践。高等学校学習指導要領(平成30年告示)学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業協力者。日本生物教育会、東京都生物教育研究会、日本生物教育学会に所属。



講演

02

確かな学力に結びつける体験・探究学習へ

東京農業大学 名誉教授・稲花小学校 前校長 夏秋 啓子氏 | 14:20-14:50 | 1号館 131教室

東京23区内では59年ぶりの新設私立小として、今春、初の卒業生を送り出した東京農業大学稲花小学校。大学との多様な連携の中で展開した本物を現場でプロと体験する学びなど、特色ある教育がどう考えられ作られたのか、初代校長の視点からご紹介します。

1983年東京大学大学院農学系研究科農業生物学専攻博士課程修了(農学博士)後、東京農業大学で熱帯植物病理学の教育研究に携わり、途上国での研究や留学生受け入れも行う。副学長として2021年まで勤務。2019年より東京農業大学稲花小学校初代校長として、特色ある教育を行う小学校を構築し人気校に育てた。



6名の現役教員による実践的なワークショップ

6コースから最大3コースまで参加可能!

14:50-17:00 | 1号館 2階

A 子ども達は専門家に憧れる

東京農業大学/稲花小学校 [小学校理科]
名誉教授/前校長 夏秋 啓子氏

やさしく説明することだけが大切? 子ども達を煙に巻く大人・専門家も魅力です。

B 探究課題の作り方

東京学芸大学附属世田谷中学校 [中学理科]
副校長 高田 太樹氏

探究的な授業になるかどうかは、与える「課題」で決まります。その作り方を紹介します。

C みんなdeゆるスホ!

野田学園中学高等学校 [中学技術・家庭]
教諭 天川 勇二氏

AIを活用して、みんなが楽しめるゆる〜いスボーツを創り、遊びながら探究を楽しみます♪

D たった1つの卵で世界が変わる探究の授業

東京農業大学第一高等学校中部 [中学理科]
教諭 武中 豊氏

身近な食品である鶏卵を材料に命について討議し、発生のしくみを探求していきます。

E プロジェクト学習の実践

愛媛県立西条農業高等学校 [高校農業]
教諭 行元 悠一氏

農業科目で行う農業クラブ活動を通したプロジェクト学習の実践事例を紹介します。

F 「問い」のサイクル体験

昭和女子大学附属昭南中学校・高等学校 [高校理科]
教諭 大野 智久氏

「問い」のサイクルを使った例を紹介し、実際に生徒が行う探究活動を体験してもらいます。

情報交換会 講師陣を交えた参加者の交流の場 出入り自由

17:30-19:00 | 国際センター 1階

主催: 東京農業大学 教職課程

共催: 全国教職員部会連絡協議会

後援: 東京農業大学 校友会

東京農業大学教育後援会

東京農業大学 教職課程 世田谷キャンパス 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 TEL.03-5477-2512 E-mail kyosyoku@nodai.ac.jp

小田急線経堂駅より徒歩15分 または 東横線国都市線用賀駅より徒歩10分 農大前下車 <https://www.nodai.ac.jp/campus-map/setagaya/> (付記QRコード)

